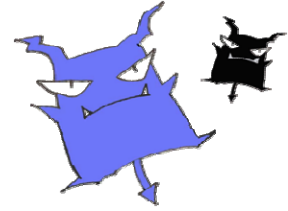


平成22年4月

京都市こどもの感染症



★☆☆ 去年の今ごろ、京都市で多かった感染症

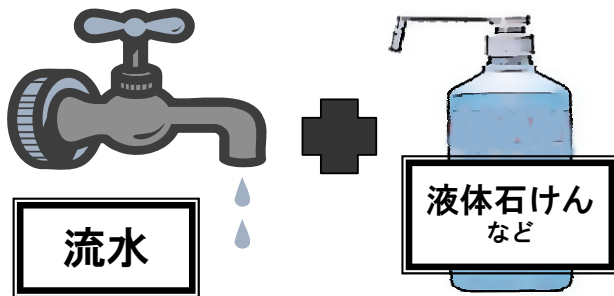
1位	2位	3位
感染性胃腸炎	インフルエンザ*	水ぼうそう（水とう）
発熱、下痢、おう吐などが主な症状です。下痢やおう吐が続くと脱水症になりやすいので、水分補給をこまめに行いましょう。	高熱、全身のけんたい感、筋肉痛などが主な症状です。特に乳幼児はインフルエンザ脳症や肺炎などの合併症を起こす場合がありますので、発熱など気になる症状があれば、事前に電話で相談のうえ、マスクをして、医療機関へ行きましょう。	伝染力が強く、肺炎・脳炎・すい膜炎などの合併症を併発することもあります。予防接種（1歳以上、1回接種）は任意ですが、集団生活をする場合は接種されることをお勧めします。感染したら、すべての発しんが「かさぶた」になってから登校（園）しましょう。

(*) 去年の今ごろは、季節性インフルエンザ（特にB型）が多く発生していました。その後、新型インフルエンザが夏ごろから流行し、11月ごろにピークを越えた後は、3月15日現在、少数にとどまっています。しかしながら、いつ第2波が来てもおかしくありません。日ごろの手洗い、うがい、せきエチケットの習慣が大切です。なお、新型インフルエンザワクチンを今のうちに接種しておくことも有効です。

～感染性胃腸炎やインフルエンザ、O157などの感染症の予防のため、手洗いの習慣をつけましょう～



● 手洗いの基本は流水と石けんで行う方法です！



1 手洗いのタイミング

- 「外から帰ってきたら」
- 「食事や調理の前」
- 「トイレのあと」

保護者の方は
「オムツ交換のあと」
など

2 手洗いのときの注意

- (1) 水で手のひら全体をぬらしましょう
- (2) 「手のひら」, 「手の甲」はもちろん, 「指先」, 「つめの間」, 「指の間」まで **ていねい**に洗いましょう

親指を手のひらで、ねじり洗いし、
手首も握ってぐりぐり洗いましょう

- (3) 石けんを完全に洗い流しましょう



時間をかけて、ていねいに
(約30秒以上)

3 手洗いのあとは、ペーパータオルで拭き取るなど、よく**乾燥**させましょう！

発行 ☆ 京都市保健福祉局 保健医療課 / 衛生環境研究所

(本号及びバックナンバーは、衛生環境研究所のホームページからご覧になれます。)